

知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

高等部生徒指導要録



[知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校]

## 高等部生徒指導要録

様式1 (学籍に関する記録)

区分 \ 学年	1	2	3
ホームルーム			
整理番号			

学 籍 の 記 録						
生 徒	ふりがな		性 別		入学・編入学	令和 年 月 日 第1学年 入学 第 学年編入学
	氏 名				転 入 学	令和 年 月 日 第 学年転入学
	生年月日	年 月 日生			転学・退学	(令和 年 月 日) 令和 年 月 日
	現住所			令和 年 月 日		
保 護 者	ふりがな			留 学 等	令和 年 月 日 ～令和 年 月 日	
	氏 名				卒 業	令和 年 月 日
	現住所			令和 年 月 日		
入学前の経歴		令和 年 月 卒業	進 学 先 ・ 就 職 先 等			
学 校 名 及 所 在 地 (分校名・所在地) (分教室名・所在地) 学 科 名						
年 度	令和 年度		令和 年度		令和 年度	
区分 \ 学年	1		2		3	
校長氏名印						
ホームルーム 担任者氏名印						



様式2 (指導に関する記録)

学年	ホームルーム	整理番号	生徒氏名	学校名																																																																											
<table border="1"> <tr> <th colspan="3">各教科・特別活動の記録</th> <th colspan="2">入学時の障害の状態</th> </tr> <tr> <td></td> <td>知識・技能</td> <td>思考・判断・表現</td> <td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>国語</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>美術</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>保健体育</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>職業</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>専門教科</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>特別活動</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>総授業 時数</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					各教科・特別活動の記録			入学時の障害の状態			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		国語					社会					数学					理科					音楽					美術					保健体育					職業					家庭					専門教科					その他					特別活動					総授業 時数				
各教科・特別活動の記録			入学時の障害の状態																																																																												
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																																																												
国語																																																																															
社会																																																																															
数学																																																																															
理科																																																																															
音楽																																																																															
美術																																																																															
保健体育																																																																															
職業																																																																															
家庭																																																																															
専門教科																																																																															
その他																																																																															
特別活動																																																																															
総授業 時数																																																																															
<table border="1"> <tr> <th colspan="3">総合的な探究の時間の記録</th> </tr> <tr> <td>学習活動</td> <td>視点</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="3">自立活動の記録</th> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <th colspan="3">総合所見及び指導上参考となる諸事項</th> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <th colspan="6">出欠の記録</th> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td>出席停止・ 忌引等の 日数</td> <td>留学中の 授業日数</td> <td>出席しな ければなら ない日数</td> <td>欠席日数</td> <td>出席日数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">備考</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>					総合的な探究の時間の記録			学習活動	視点	評価				自立活動の記録						総合所見及び指導上参考となる諸事項						出欠の記録						授業日数	出席停止・ 忌引等の 日数	留学中の 授業日数	出席しな ければなら ない日数	欠席日数	出席日数							備考																																			
総合的な探究の時間の記録																																																																															
学習活動	視点	評価																																																																													
自立活動の記録																																																																															
総合所見及び指導上参考となる諸事項																																																																															
出欠の記録																																																																															
授業日数	出席停止・ 忌引等の 日数	留学中の 授業日数	出席しな ければなら ない日数	欠席日数	出席日数																																																																										
備考																																																																															



## 高等部生徒指導要録に記載する事項等

### I 学籍に関する記録（様式1）

原則として住民票の記載に基づき、学年当初及び異動の生じたときに記入する。

#### 1 ホームルーム、整理番号

生徒の毎学年の所属ホームルームと整理番号を記入する。整理番号は、学校の実情に応じて適切に付ける。

#### 2 生徒の氏名、性別、生年月日及び現住所

原則として住民票の記載に基づき記入する。「現住所」は県名から記入する。

#### 3 保護者の氏名及び現住所

(1) 「氏名」の欄には、生徒に対して親権を行なう者を、親権を行う者がいないときには、後見人を記入する。

(2) 「現住所」については、生徒の現住所と同一の場合には、「生徒の欄に同じ」と略記する。

(3) 入学時、成年に達している生徒については、保護者の欄に保証人（成人した家族を含む）について記入する。

#### 4 入学前の経歴

高等部に入学するまでの教育関係の略歴（学校名及び卒業年月）を記入する。  
例えば、「令和〇年〇月〇〇県立〇〇特別支援学校中学部卒業」又は「令和〇年〇月〇〇市立〇〇中学校卒業」というように記入する。

なお、特別支援学級や通級指導教室、外国において受けた教育の実情なども記入する。

#### 5 入学・編入学

##### (1) 入学

校長が入学を許可した年月日を記入する。この場合は、「第 学年編入学」の文字を一本線（黒）で削除する。

なお、他の特別支援学校高等部又は高等学校に入学した者が、第1学年の中途に転入学した場合は、この欄に記入しないで「転入学」の欄に記入する。

##### (2) 編入学

在外教育施設や外国にある学校等から編入学した場合、過去に特別支援学校の

高等部又は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）に在学していた者などが入学した場合について、その年月日、学年等を記入する。なお、この場合には、「第1学年入学」の文字を一本線（黒）で削除する。

また、単位制による課程の場合においては、当該生徒に係る校長が定めた在学すべき期間を記入する。

## 6 転入学

他の特別支援学校の高等部又は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）から転学してきた生徒について、転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地、課程の種類、学科名等を記入する。

また、単位制による課程の場合においては、当該生徒に係る校長が定めた在学すべき期間を記入する。

## 7 転学・退学

### (1) 転学について

他の特別支援学校の高等部又は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）に転学する場合には、そのために学校を去った年月日※をこの欄の上部（ ）内に記入した上で、下部に転学先の学校が受け入れた日の前日に当たる年月日を記入し、下の余白に転学先の学校名、所在地、課程の種類、学科名、転入学年等を記入する。

※「学校を去った年月日」とは、その学校に最後に登校した日のことである。学校に最後に別れを告げに来ただけのような場合でも、その日を記入する。

### (2) 退学について

退学する場合には、校長が退学を認め、又は命じた年月日等を記入し、下の余白にその事由等を記入する。

### (3) その他

生徒が死亡した場合は、除籍年月日を上部（ ）内に記入し、下の余白にその事由等を記入する。

## 8 留学等

留学又は休学について校長が許可した期間を記入する。留学の場合は、留学先の学校名、学年及び所在国名を記入する。

## 9 卒業

校長が卒業を認定した年月日を記入する。

## 10 進学先・就職先等

進学先の学校名及び所在地、就職先の事業所名及び所在地等を記入する。就職しながら進学した者については、上記の両者を記入する。

また、福祉施設に入所・通所した者については、施設名並びに施設の種類及び所在地等を記入する。

なお、家事又は家業に従事した者については、その旨を記入する。

卒業の際、進路が決まっていなくて記入できない者については、確定した時に記入するようにする。

## 11 学校名及び所在地、学科名

### (1) 学校名及び所在地

学校名及び所在地を記入する。分校の場合は、本校名及び所在地のほか、分校名及び所在地を記入する。分教室は分校と同じ要領で記入する。

### (2) 学科名

普通科、専門教育を主とする学科の名称を記入する。

## 12 校長氏名印、ホームルーム担任者氏名印

各年度に、校長の氏名、ホームルーム担任者の氏名を記入する。同一年度内に校長又はホームルーム担任者が代わった場合には、その都度後任者の氏名を併記する。

学年末又は生徒の転学・退学の際は、記入について責任を有する校長及びホームルーム担当者が押印する。

なお、氏名の記入及び押印については、電子署名を行うことで替えることも可能である。

## II 指導に関する記録

特別支援学校（知的障害）高等部における指導に関する記録については、各教科の学習の記録、特別活動の記録、自立活動の記録、学年ごとの総授業時数、道徳科の記録、総合的な探究の時間の記録、入学時の障害の状態、総合所見及び指導上参考となる諸事項並びに出欠の記録について記入する。

特別支援学校高等部に在籍する生徒については、個別の指導計画を作成する必要があることから、指導に関する記録を作成するに当たって、個別の指導計画における指導の目標、指導内容等を踏まえた記述となるよう留意する。

また、重複障害者のうち、障害の状態等により各教科等に替えて自立活動を主として指導を行った場合には、取り扱わなかった教科の欄は、斜線を引く。

生徒の障害の状態等に即して、各教科、道徳科、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導を行った場合であっても、各教科等の目標、内容に照らして評価を行う。

なお、個別の指導計画に指導要録の指導に関する記録と共通する記載事項がある場合には、当該個別の指導計画の写しを指導要録の様式に添付することをもって指導要録への記入に替えることも可能である。

ただし、指導要録の指導に関する記録は、各教科等について年間の括的な評価を記載する必要がある。よって、個別の指導計画の写しを添付することをもって指導要録への記入に替える場合には、県教育委員会に相談、確認を行うこととする。

## 1 各教科の学習の記録

特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年文部科学省告示第14号）に示す高等部の各教科の目標、内容に照らし、137～142ページの各教科の評価の観点及び趣旨を踏まえ、具体的に定めた指導目標の達成状況や指導内容の習得状況を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価の三つの観点から簡条書き等により文章で端的に記述する。

外国語科、情報科、学校設定教科を設けた場合は、「その他」の欄内に各教科名を書いた上で、学習の記録を記入する。

## 2 特別の教科 道徳

道徳科の評価については、学習活動における生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を個人内評価として文章で端的に記述する。

具体的には以下の（1）から（4）までに留意し、学習活動における生徒の「学習状況や道徳性に係る成長の様子」を、観点別評価ではなく個人内評価として丁寧に見取り、記述で表現する。

- （1）生徒の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価としては、育むべき資質・能力を観点別に分節し、学習状況を分析的に捉えることは妥当ではないこと。
- （2）このため、道徳科については、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める」という学習活動における生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、生徒が学習の見通しをもって振り返る場面を適切に設定しつつ見取ることが求められること。
- （3）他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うこと。
- （4）個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすること。その際、道徳科の趣旨を踏まえ、特に、学習活動において生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが求められること。

### 3 総合的な探究の時間の記録

総合的な探究の時間の記録については、この時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入する等、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述する。

総合的な探究の時間の記録については、この時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入する等、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述する。

#### (1) 「学習活動」について

当該学年で実施した学習活動を記入する。目標の実現に向けて生徒が探究的な学習に取り組む課題については、学校の実態に応じて、

例えば

- ・国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題
- ・地域や学校の特色に応じた課題
- ・生徒の興味・関心に基づく課題
- ・職業や自己の進路に関する課題

などを設定する。

活動名をどのように表現するかについても各学校に任されているが、活動の内容が一般的に理解できる表現で記入する。

#### (2) 「観点」について

評価の観点については高等学校学習指導要領等に示す総合的な探究の時間の目標を踏まえ、各学校において具体的に定めた目標、内容に基づいて、143ページを参考に定める。

#### (3) 「評価」について

観点ごとの分析的な評価をもとに学習状況の特徴や進歩の状況、身に付けた力などを総括的に記述する。

### 4 特別活動の記録

特別支援学校（知的障害）高等部における特別活動の記録については、高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における特別活動の記録に関する考え方を参考としながら文章で端的に記述する。

## 5 自立活動の記録

自立活動の記録については、個別の指導計画を踏まえ、以下の事項等を端的に記入する。

- ① 指導の目標、指導内容、指導の成果の概要に関すること
- ② 障害の状態等に変化が見られた場合、その状況に関すること
- ③ 障害の状態を把握するため又は自立活動の成果を評価するために検査を行った場合、その検査結果に関すること
- ④ 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年文部科学省告示第14号）第1章第2節第4款1（2）の規定により、自立活動の授業時数を単位数に換算した場合の単位

## 6 総授業時数

総授業時数については、各教科、道徳科、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動の年間の出席総時数を記入する。

## 7 総合所見及び指導上参考となる諸事項

総合所見及び指導上参考となる諸事項については、生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下の事項等を文章で箇条書き等により端的に記述する。特に⑤のうち、生徒の特徴・特技や学校外の活動等については、今後の学習指導等を進めていく上で必要な情報に精選して記述する。

- ① 各教科、道徳科、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動を踏まえ、生徒の成長の状況等にかかわる総合的な所見
- ② 行動に関する所見
- ③ 進路指導に関する事項
- ④ 取得資格
- ⑤ 生徒の特徴・特技、部活動、学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動、知能や学力について標準化された検査の結果等指導上参考となる諸事項
- ⑥ 交流及び共同学習を実施している生徒については、その相手先の学校名やホームルーム名、実施期間、実施した内容や成果等

記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを取り上げることに留意する。ただし、生徒の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば端的に記入する。

## 8 入学時の障害の状態

入学時における障害の種類及び程度等について、調査票等に記載されている病名、起因疾患や障害の状態等を、箇条書きで端的に記入する。

## 9 出欠の記録

以下の事項を記入する。

### (1) 授業日数

生徒の属する学科及び学年について授業を実施した年間の総日数を記入する。ただし、教員を派遣して教育を行なった生徒については、当該生徒に対して授業を実施した総日数を記入する。

学校保健安全法第20条の規定に基づき、臨時に、学校の全部又は学年の全部の休業を行うこととした日数は授業日数には含めない。

ただし、転学又は退学をした生徒については、転学のため学校を去った日又は退学をした日までの授業日数を記入し、編入学又は転入学をした生徒については、編入学又は転入学をした日以後の授業日数を記入する。

なお、授業とは学校において編成した教育課程を実施することであるから、例えば、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間における生徒の出校日等は、それが教育課程として実施されたものでない限りは授業日とはみなさない。

### (2) 出席停止・忌引等の日数

以下の日数を合算して記入する。

- ① 学校教育法第11条による懲戒のうち停学の日数、学校保健安全法第19条による出席停止の日数並びに感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第19条、第20条、第26条及び第46条による入院の場合の日数
- ② 学校保健安全法第20条により、臨時に学年の中の一部の休業を行った場合の日数
- ③ 忌引日数
- ④ 非常変災等生徒又は保護者の責任に帰すことのできない事由で欠席した場合などで、校長が出席しなくてもよいと認めた日数
- ⑤ 選抜のための学力検査の受検その他教育上特に必要な場合で、校長が出席しなくてもよいと認めた日数

### (3) 留学中の授業日数

校長が許可した留学期間における我が国の在籍校の授業日数を記入する。

### (4) 出席しなければならない日数

授業日数から出席停止・忌引等の日数及び留学中の授業日数を差し引いた日数を記入する。

### (5) 欠席日数

出席しなければならない日数のうち病気又はその他の事故で生徒が欠席した日数を記入する。

## (6) 出席日数

出席しなければならない日数から欠席日数を差し引いた日数を記入する。

なお、出席の取扱いについては、以下の①から②に留意する。

- ① 学校の教育活動の一環として生徒が運動や文化などにかかわる行事等に参加したものと校長が認める場合には、指導要録の出欠の記録においては出席扱いとすることができる。
- ② 平成21年3月12日付け20文科初第1346号「高等学校における不登校生徒が学校外の公的機関や民間施設において相談・指導を受けている場合の対応について」に沿って、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の将来的な社会的自立を助ける上で適切であると校長が認める場合には、指導要録の出欠の記録においては出席扱いとすることができる。その際、出席日数の内数として出席扱いとした日数を記入する。

## (7) 備考

出席停止・忌引等の日数に関する特記事項、欠席理由の主なもの、遅刻、早退等の状況、その他の出欠に関する特記事項等を記入する。

また、不登校生徒で(6)②に該当する場合には、生徒が通所又は入所した学校外の施設名を記入すること。